

記者発表資料

令和4年9月14日（水）

宮城県多賀城跡調査研究所研究班

担 当 はつかの初鹿野博之・鈴木貴生

電 話 022-368-0102

現場携帯電話 090-3642-0324

tagajo\_lab@pref.miyagi.lg.jp

## 多賀城跡第96次発掘調査現地説明会の開催について

当研究所の調査研究活動につきましては、日頃から御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当研究所では、令和4年度事業として、4月26日より多賀城跡第96次発掘調査を実施しております。

このたびその成果がまとまり、9月17日の一般公開に先立ち、下記のとおり報道機関に公开发表をいたしますので、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

### 記

1 日 時 報道機関公開 令和4年9月15日（木）（雨天決行）

午後1時30分から

一 般 公 開 令和4年9月17日（土）（小雨決行）

午前10時30分から正午まで

※ 新型コロナウイルス感染予防対策により、少々お待ちいただく場合があります。

2 会 場 多賀城市市川字大畑地内 多賀城跡第96次発掘調査現場

JR東北本線 国府多賀城駅より徒歩25分（別添地図参照）

3 説 明 者 宮城県多賀城跡調査研究所 はつかの初鹿野博之 鈴木貴生

4 調 査 内 容 別紙資料を参照ください

★マスクの着用をお願いいたします。

## 多賀城跡第96次調査の成果について

### 調査の目的

特別史跡多賀城跡は奈良・平安時代の陸奥国府跡です（724年～11世紀頃）。宮城県多賀城跡調査研究所では、昭和44年以来、5ヵ年計画による発掘調査を計画的に実施し、多賀城跡の実態を解明する研究を進めています。今年度は、昨年度に続いて多賀城政庁北側の政庁地区北方を対象に第96次調査を実施しています。

政庁地区北方の調査はこれまで6次にわたって行なわれており、政庁第Ⅲ期（780～869年）から第Ⅳ期（869～11世紀前半）にかけて、建物などの遺構が分布するようになることが判明しています。今回の調査は、政庁の北西側を対象に、遺構の分布や構成等の把握を目的として実施しています。

### 調査成果

#### 政庁の北側で平安時代の鍛冶工房とみられる遺構を発見しました。

見つかった遺構は、南北約3m、東西5m以上の範囲で地面を平坦に切土造成し、掘立柱式の建物の内部で鍛冶作業を行っていたと考えられます。多量の炭に混ざって、鉄滓<sup>てっさい</sup>などの鍛冶関連遺物が出土しています。また、出土した土器から、政庁第Ⅲ期（780～869年）と考えられます。

多賀城内の鍛冶遺構は、これまでに大畑地区や五万崎地区で僅かに調査されているのみで、今回は政庁のすぐ北側で鍛冶工房の存在が明らかになったという点で、貴重な発見となりました。



鍛冶工房の調査状況（東及び南東から）



- 第96次調査説明会場
- 報道関係者用駐車場

多賀城跡第96次調査現地説明会場・報道関係者駐車場の位置